

文部科学省
指定事業

SSH

スーパーサイエンス
ハイスクール

×

SDGs

ユネスコスクール
キャンディデート

ワクワクがとまらない新たな時代の最先端教育

SSHは全国で218校（全高校の約4%）が指定を受けており本校はそのうちの1校です。「未来に果敢に挑戦できる科学技術系人材」を育成するため、生徒が持つ探究心を思い切り発揮できる教育を展開しています。

国際探究科 青木真友子（長井南中）

置賜のジェンダー平等を目指して

私たちは置賜地域のジェンダー平等を実現すべく「Okitama Gender Innovation ~For All Generations~」というテーマで研究を行ってきました。研究対象である置賜地区で暮らしている社会人へのヒアリング調査を通して「アンコンシャスバイアス」の存在が問題解決の大きな鍵を握っていると考察しました。そこで、パンフレットの作成やオンラインイベントの開催などを通してその周知を目指しました。置賜のジェンダー平等に貢献した活動を行うことができたと思います。SSRでは自分の興味や関心を深掘りすると同時に、多様な能力を伸ばすことができます。ぜひ興譲館で高校生のうちからハイレベルな研究を体験してみてください。



普通科 星 麻佳（米沢二中）

幼児が口に入れても安全な消しゴム作り

日本では、乳幼児の誤飲事故の発生頻度が、世界的にみても高い傾向にあります。そんな身近に潜む社会問題を解決するために、食べることができる牛乳と酢を使用し、作成することができるカゼインプラスチックを応用させ、口に入れても安全な消しゴムの作成に挑戦しています。また、牛乳だけでなく豆乳なども使用し、安全な消しゴム作りに励んでいます。米沢興譲館高校でのSSRは、自分の好きなテーマを設定し、より深くハイレベルな研究をすることができます。この探究活動を通して知識を深めるだけでなく自分の新たな可能性を見出すことができます。みなさんもぜひ興譲館でしかできないハイレベルで最先端な探究活動を体験してみてください！



今、君たちが一生懸命に取り組んでいることは何でしょうか？スポーツ、部活、音楽、ダンス、仲間、創作、研究、勉強・・・？

SSH指定校である米沢興譲館高校では、これまでの高校教育の枠を超える多彩で充実した活動が数多く取り入れられており、このSSH活動をとおして皆さんはさまざまな経験をし、多くのことを学んでいると思います。そして、この米沢興譲館高校で仲間とともに過ごす3年間は、一生にわたって宝物となる最も素晴らしい時期となることでしょう。卒業生である私が皆さんに一つだけ言いたいことは、自分が一生懸命に取り組める“何か”を見つけて、それを大切に育て続けてほしい、ということです。このSSH活動の中でも、その“何か”の種となるものを見つける人もいます。また、今はまだはっきりわからない人もいます。まずは、いろいろなことに興味をもち、熱意を持って実際に挑戦してみよう。将来の自分を創りあげていく原動力となる、その“何か”をこの米沢興譲館高校で是非とも見つけてほしいと思っています。

東北大学大学院医工学研究科 教授 神崎 展（昭和59年卒）

